

算数授業のめあてとポイント

令和7年12月号

学校図書対応

☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図られるようにならう。

※「単元のめあて」枠内の漢字に、ルビを振っている箇所があります。ひらがななど漢字のどちらを使うかは、学習進度などを勘案して指導者で判断して下さい。

(K・・・啓林館、G・・・学校図書、T・・・東京書籍)

学年	単元	単元のめあて と 授業のポイント
1年	下巻⑬	・11月号参照
2年	下巻⑮ 分数 同様単元 K3月⑰ T2月⑯	◎単元のめあて(板書例) ものを ^{おな} 同じ大きさに ^わ 分けたときの、大きさの ^{かんが} あらわしかたを ^{めい} 考えて、せつ明しよう。 ◎授業のポイント ・p. 48~52 では、テープや色紙などの具体物を 2等分・4等分する等の操作を通して、元の大きさの半分として元の $\frac{1}{2}$ の大きさ 半分の半分として元の $\frac{1}{4}$ の大きさ等の 分数の意味が実感できるようにする。 ・p. 53 では、図に表して比べることで、元の大きさの $\frac{1}{2}$ を2倍すると元の大きさに戻る ($\frac{1}{3}$ の3倍) 等 倍と分数の関係が理解できるようにする。 ・p. 54~55 では、みかん10個の $\frac{1}{2}$ は5個になり ミカン4個の $\frac{1}{2}$ は2個になる等、「同じ分数でも元の大きさが変われば 1つ分の大きさも変わること」が理解できるようにする。
3年	下巻⑯	・11月号参照
4年	下巻⑭	・11月号参照
5年	下巻⑮ 正多角形 と円 同様単元 K1月⑭ T2月⑯	◎単元のめあて(板書例) 円を使って 辺の長さが全て等しい多角形をかいて 特ちょうを見つけたり、 円の周(まわり)と直径の関係を調べて きまりを見つけたりして、説明しよう。 ◎授業のポイント ・p. 72~76 では、円を基に正多角形を描く活動を通して、正多角形の性質が理解できるようにする。 (円の中心をn等分すれば、n個の二等辺三角形ができる。) ・p. 77~80 では、円周の長さと直径の長さを測定し、円周の直径に対する割合を帰納的に考えることにより、「円周÷直径=円周率(3.14)」が実感できるようにする。また、「円周と直径が比例関係になること」が理解できるようにする。 ・p. 81~82 では、「円周÷直径=円周率」より「円周=直径×円周率」を導いて、円周の長さが求められるようにする。
6年	⑬	・11月号参照

〈お知らせと お願い〉

「算数教育ネットワーク岡山」でHPを検索して、毎月の「算数授業のめあてとポイント」や

「算数教育情報コーナー」等をご覧いただき、日々の実践に役立てて下さい。

なお、これらについてのご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は
seiden_atmark_po.harenet.ne.jpまでMailでお知らせ下さい。(atmark_を@に直して下さい。)